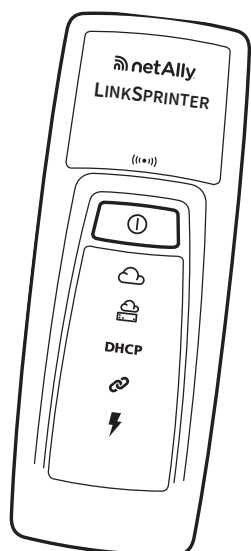
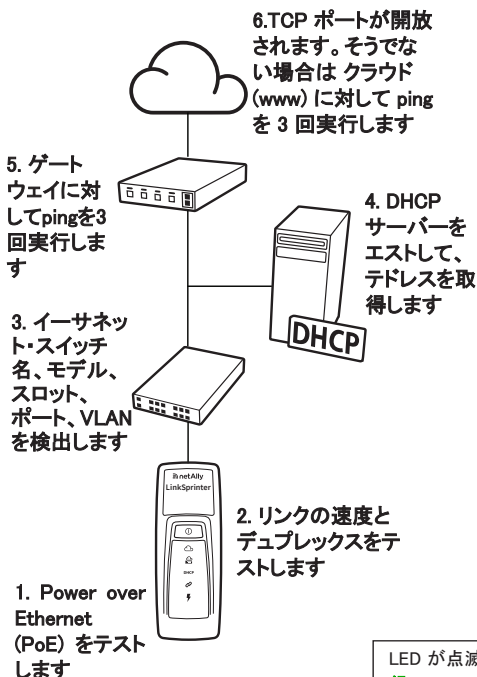


ユーザーガイド

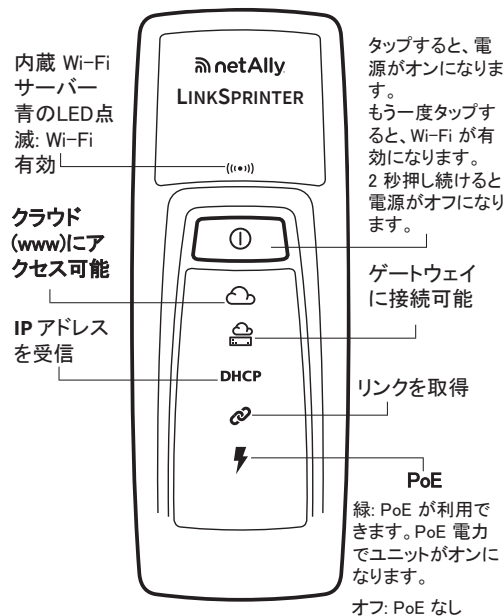
LinkSprinterは接続テストを実行し、テスト結果をLink-Liveクラウドサービスに送信します。



どんなテスト？



LinkSprinter のマーク



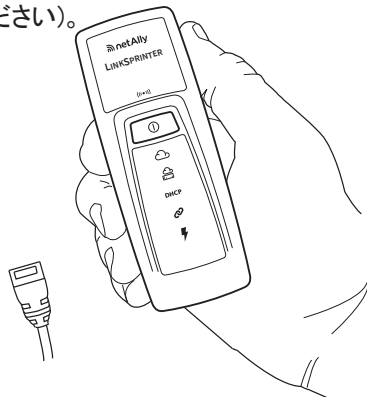
LED が点滅: テストが進行中です。
緑の LED: テストに合格しました。
赤の LED: テストに合格しませんでした。赤の PoE: 低電圧。
黄色 Link LED: 最高速度からのシフトダウンを検出。黄色 ゲートウェイまたはクラウド: ping (1 ~ 2 回) または TCP ハンドシェイクが失敗しました。

Link-Live クラウド・サービスへの LinkSprinter の要求

1 要求の準備

PoE (Power over Ethernet) が利用できない場合は、単三電池2本を LinkSprinter の背面に挿入してください (ただし、まだ電源は入れないでください)。

インターネットにアクセスできるアクティブなネットワークにイーサネット・ケーブルが接続されていることを確認します (まだ LinkSprinter には接続しないでください)。



Link-Live クラウドサービスは、LinkSprinter のテスト結果を表示、整理、報告するための無料のオンラインシステムです。LinkSprinter が要求されると、テスト結果は自動的に Link-Live にアップロードされます。

2 サインアップとサインイン

次のサイトでユーザー・アカウントを作成します:
Link-Live.com

指示に従ってアカウントを有効化し、サインインします。

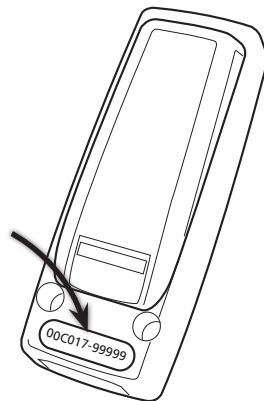


3 要求

初めて Link-Live にサインインした場合は、ポップアップ・ウィンドウが表示され、デバイスを要求するよう指示されます。

LinkSprinter の画面の要求手順に従います。

要求するには機器の背面にあるユニット番号 (MAC の下 6 桁) が必要です。

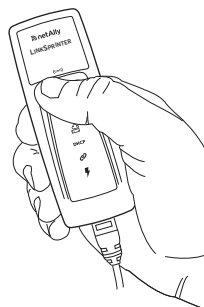


モバイル・デバイスへの LinkSprinter の接続

1 LinkSprinter Wi-Fi の電源を入れる

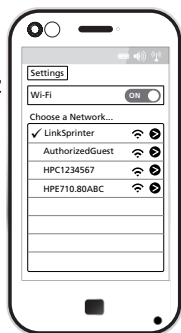
LinkSprinter の電源ボタンをタップして、もう一度タップします。

Wi-Fi が有効な場合は青い Wi-Fi アイコンが点滅し、LinkSprinter がモバイル機器と接続されている場合は点灯したままになります。



2 ネットワークの表示

モバイル・デバイスで、Wi-Fi ネットワークのリスト画面へ進みます。



3 LinkSprinter SSID との接続

LinkSprinter SSID (名称は "LinkSprinter" + MAC アドレスの下位 6 桁) を選択します

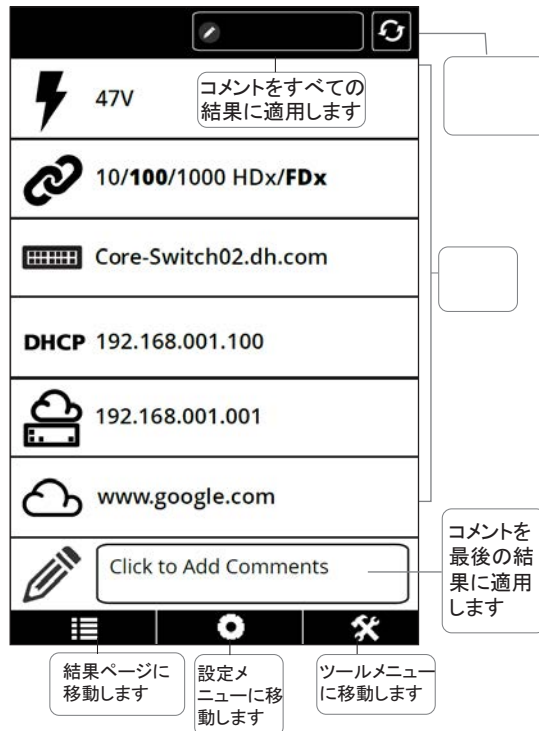
4 モバイル・インターフェースを開く

モバイル・デバイスのブラウザを開いて、IP アドレス 172.16.9.9 を入力するか、ui.linksprinter.com と入力します。

これでモバイル・デバイスと LinkSprinter がリンクされ、テストを開始する準備が整いました。

詳細なテスト結果もメールで送信されます。結果メールに返信を送ると、クラウド上の結果にコメントや写真の添付を追加できます。

モバイル・デバイスのインターフェースのメインページ



47V

PoE電圧

47V

太字は、実際のリンクの速度とデュープレックスを示します

10/100/1000 HDx/FDx

通知されたリンク速度とデュープレックス、受信用ペアと極性

Advertiser: 10/100/1000 HDx/FDx
Rx Pair: 1,2
Polarity: normal

Core-Switch02.dhr.com

最も近いスイッチの名前

Name: Core-Switch02.dhr.com
Port: GigabitEthernet1/0/47
VLAN: 21
Model: cisco WS-C2960S-48TS-L
IP/MAC: 172.031.163.010

LLDPまたはCDPからのスイッチポート・アドバタイズメント (オプション)

DHCP 192.168.001.100

受信したDHCPアドレス

Server: 193.211.132.127
Subnet: 255.255.254.000
DNS1: 192.181.002.170
DNS2: 192.181.002.173

DHCPサーバー、サブネットおよびDNSサーバー・アドレス

192.168.001.001

ゲートウェイIPアドレス

2ms, 5ms, -

Ping 応答回数 (3) — 応答なしを意味します

www.google.com

ターゲット DNS 名または IP アドレス

Type: TCP
Port: 80(HTTP)
IP: 172.016.200.100
84ms, 89ms, 73ms

Ping または TCP ポート

IPアドレス(DNS名の場合)TCPまたはPING応答回数(3)

モバイル・インターフェース
[Settings (設定)] メニュー

通知を受信すると、1Gbでテストします。デフォルトではオフ設定です。

Test 1Gb

Off

3分で自動オフ

Auto-off

On

テスト結果をクラウドへ送信します

Cloud Service

On

ケーブル・テストに設定

Cable Unit

Feet

DHCPまたは静的IPアドレスを設定します

IP

DHCP

ターゲットDNS名またはIPアドレスを設定します。PINGまたはTCPポート・テスト・タイプを設定します

WWW

www.google.com:80(HTTP)

SSIDおよびビルトインAPのチャネルを設定します

Wi-Fi

LinkSprinter, <Ch2>

Webプロキシを設定します(ネットワーク管理者によって要求された場合)

Proxy

ツール・メニュー

Cable

FlashPort

スイッチポートを点滅させて、配線を確認します

ケーブルテストを実行します

< Back Cable

1

Open <3.3ft

2

3

Good 10.5ft

4

5

Good 10.5ft

6

7

Good 10.5ft

8

環境と規制の仕様

環境	
作動温度と相対湿度	0°C ~ 50°C、相対湿度 5% ~ 90%、結露なきこと
保管温度	-20° C ~ 60° C
衝撃および振動	ランダム 2 g、5 Hz ~ 500 Hz (クラス 2)、1 m 落下テスト
安全規格	IEC 61010-1、カテゴリなし、汚染度 2
作動高度	4,000 m
保管高度	12,000 m
EMC	IEC 61326-1、持ち運び可能
無線	
適合仕様	IEEE 802.11 b/g
周波数チャネル	802.11 チャネル 1 ~ 11、デフォルトは 11
動作周波数	2.412~2.484 GHz、ISM バンド
規制領域	EN 301 489-1/17
General	
寸法	11.07 cm x 4.06 cm x 3.25 cm
重量 (電池装着時)	0.116 kg
電池	単 3 アルカリ電池 x 2、IEC LR6、または ANSI/NEDA 15A
ブラウザ	Internet Explorer 9.0、Firefox 3.6、Chrome 5.0、Safari 5.1 (最低動作環境)

ソフトウェアに関する重要な注意

本器で使用するソフトウェア:
FreeRTOS – Copyright (C) 2010 Real Time Engineers Ltd
FreeRTOS の情報は、www.freertos.org にあります。
lwIP – Copyright (c) 2001-2004 Swedish Institute of Computer Science
jQuery/jQuery Mobile – Copyright 2013 The jQuery Foundation
uIP – Copyright (c) 2004, Swedish Institute of Computer Science All rights reserved.
ソフトウェア・ライセンス関連のステートメントとファイルは、Link-Live.com/OpenSource.で入手できます。

lwIP のライセンスは、BSD ライセンスに基づいています。Copyright (c) 2001-2004 Swedish Institute of Computer Science. All rights reserved.
本ソフトウェアのソースおよびバイナリー形式での再配布および使用は、変更の有無にかかわらず、次の条件を満たす場合に許可されます。

- 1.ソース・コードを再配布する場合には、上記の著作権表示、この使用条件の一覧および以下の免責表記を必ず入れてください。
- 2.バイナリー形式で再配布する場合には、上記の著作権表示、この使用条件の一覧および免責表記を、配布する文書やその他の資料に記載する必要があります。
- 3.このソフトウェアから派生した製品を推奨または奨励するために作成者の名前を使用することは、事前の書面による許可がない限りできません。

作成者は、本ソフトウェアを「そのままの状態」で提供し、商品性および特定目的への適合性の黙示保証を含め、すべての明示的もしくは黙示的な保証責任を負いません。本ソフトウェアの使用により発生した、直接的、間接的、偶発的、特例的、懲罰的、または結果的損害 (代替の製品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失、事業の中断などをいかなる場合も含む) に関して、契約、厳格な責任、または不法行為 (過失の場合もそうでない場合も含む) のいかなる責任理論においても、損害の可能性に関する報告の有無にかかわらず、作成者は、責任を負いません。

Copyright 2013 jQuery Foundation and other contributors
http://jquery.com/
以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル (以下「ソフトウェア」) の複製を取得するすべての人に対し、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、および/または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。上記の著作権表示および本許諾表示を、ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありません。作成者または著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

FC FCC ステートメント

注: この機器は、FCC 規則の第 15 条に従って、クラス A のデジタル・デバイスとしての制限に準拠することがテスト、確認されています。これらの制限は、商用環境で動作する機器に有害な干渉からの妥当な保護を提供するために考案されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射します。説明書通りの設置や使用を行わなかった場合は、無線通信に有害な干渉を発生させる場合があります。住居環境において本機器を使用すると有害な干渉を引き起こす可能性があります。この場合は、ユーザーが自費で干渉を修正する必要が生じます。

FCC が定めた電磁波規制条件を満たすために、適切に遮蔽と接地がなされたケーブルとコネクタを使用する必要があります。製造者は、推奨以外のケーブルやコネクタを使用したことが原因で、あるいは本機器に許可されていない変更や改造を行うことが原因で生じた無線あるいはテレビ電波障害の責任を負いません。許可されていない変更または改造を行うと、本機器を動作する権限が失われる場合があります。

このデバイスは、FCC 規則の第 15 条に適合しています。操作は、次の 2 つの条件を前提とします。(1) このデバイスが害のある干渉を発生しない、および (2) このデバイスが好ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む受信干渉を受け入れる。

IC

本器は、カナダ産業省の免許除外 RSS 規格に適合しています。操作は、次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本機器が干渉を発生しない、および (2) 本機器が本機器の好ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含めて、干渉を受け入れる。

IC

無線認定番号の前の「IC」は、デバイスがカナダ産業省の技術仕様を満たしている場合にのみ付加されます。

PN 770-000046 03/2023

© 2014-2023 NetAlly

Wi-Fi® is a registered trademark of the Wi-Fi Alliance.

東洋計測器株式会社